



一人ひとりと
向き合います。

保育理念

～自分を信じられる子に～

「自分を信じられる子に」とは、「自己肯定感」の高い子どもと考えています。「自己肯定感」とは、自分は生きる価値がある、誰かに必要とされていると、自らの価値や存在意義を肯定できる感情のことをいいます。自分の良いところも悪いところも含めて肯定できる、前向きな感情ともいえます。自己肯定感の高い子どもは、自分に自信があり、何事にも挑戦していく強い心を持っています。「折れない心」とも言えますね。

また、自己肯定感があると心に余裕があり、人に優しく親切に接することができるので、多くの方が周りに集まり、支えられて生きていく方が多い傾向にあります。

就学前までの時期が、子どもたちの人格形成において、自己肯定感を育むとても重要な時期であり、乳幼児期よりしっかり愛着関係を築き、幼児期には、その愛着関係をもとに、様々なことに好奇心を持ってチャレンジできる子どもに育ててほしいと考えています。



めざす子ども像

- 自分で考え行動できる子ども
- 自信をもって出来ることをみつけられる子ども
- 他人の考え方や能力を認め信じられる子ども
- 様々なことに好奇心をもてる子ども



保育目標

人と人との関わり、
自然環境や、地域の文化を大切にし、
家庭と力を合わせ人を信じられる子どもを育てる。



保育方針

当園は子どもたちにとって、「第二の家庭」でありたいと思っています。「第二の家庭」とは、雰囲気もそうですが、人間として生きる力を獲得していく環境という意味も含んでいます。当園では、自分の遊びたいところへ行って（自分で決め）、好きな遊びを選ぶ（自分で考える）中で、自分に出来ることを見つけ、それを披露し、認められることで自信を深めるという経験をたくさんしてほしいと考えています。そのため、子どもが遊びたいと思う部屋作りや、そこに置くおもちゃ等の素材にもこだわり準備をするということに重点を置いています。



保護者の皆様にも参加していただき共に力を合わせて、あたたかな人間関係と生活。良い絵本や、優れた遊具に囲まれての豊かな遊びなど、毎日の生活の自然な流れの中で、人としての基本を身につけていけるよう、一人ひとりと真剣に向き合い、発達を援助していくことを大切にしています。

